

和歌山県の林業振興の取組について

○林道等の整備



林道を利用した運搬



森林作業道の整備

○高性能林業機械等の導入



油圧式集材機



架線式グラップル

➤ 人工林のうち、主伐期（50年生）を超えるものが約9割を占めており、森林の有効利用及び更新が必要

○建築物の木造化・木質化の推進



和歌山県立熊野高等学校講堂



民間施設の木質化

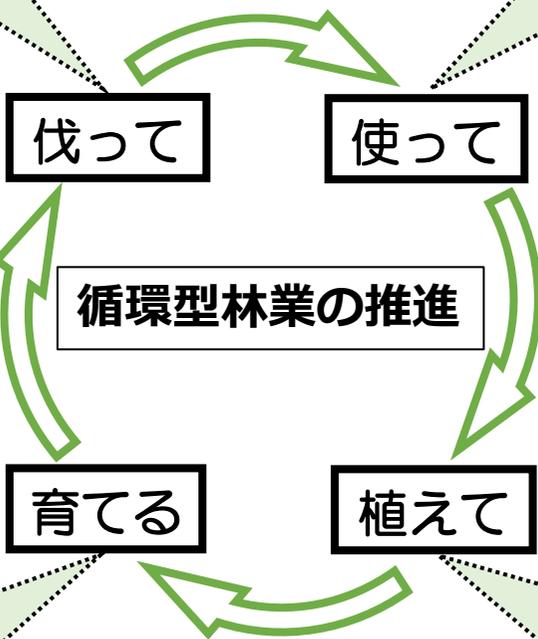
○公共土木工事における木材利用の推進



復旧工事における丸太筋工



木製ガードレール



○人工林の保育



間伐の実施

○森林クレジットの活用



いもはら
五百原県有林

○植栽資材運搬の省力化



林業用資材運搬ドローン

○花粉症対策苗木の植栽



花粉症対策母樹園の造成

和歌山県の素材生産量推移

昭和55年

460千m³

(過去最高)

平成24年

158千m³

(過去最低)

令和6年

300千m³

素材生産量と林業収益の増大に焦点をあて、適切な森林管理のもとで、持続的な森林・林業・木材産業を展開

○ 林道の整備

- 効率的な原木の集材や運搬、高性能林業機械の搬入などに資する林道の整備を、**県補助率の拡充により加速化**
(県補助率：【開設】10%→25%、【既設林道の改良(大型車両通行用)】5%→15%)
- **県が市町村に代わり広域的な幹線林道を開設**(12年ぶりに延長約21kmの林道開設に着手)
- 航空レーザ計測のデータを活用した路線自動設計ソフトの研修会等を開催し、ICTに長けた林道技術者を育成

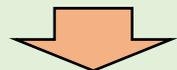
【和歌山県林道整備計画】

森林の施業の効率化及び木材の安定供給に資する林道整備を加速させるため、**あらかじめ2040年までに整備する林道路線を定め、市町村とともに計画的な林道整備を推進**する。

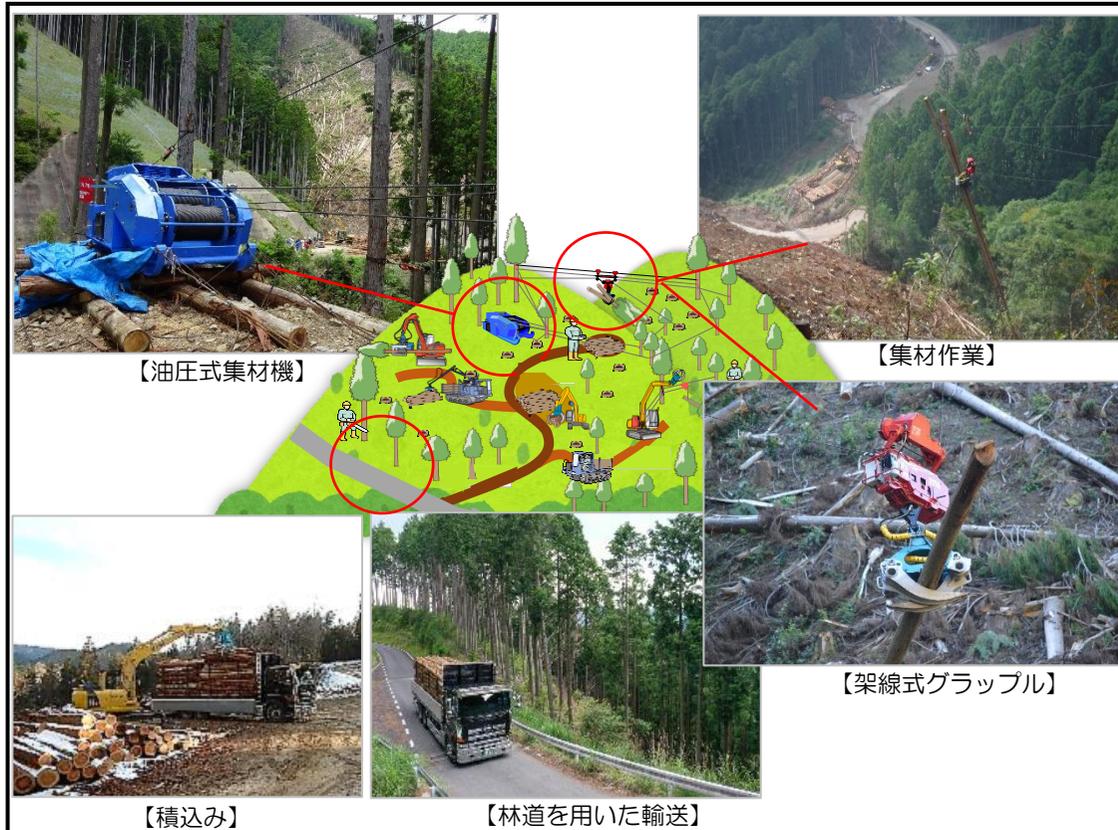
策 定：2025年3月

計画期間：2025年度～2040年度(16年間)

目 標：**28路線 135km**



2040年の目標：県内の素材生産量を
50万m³に引き上げ



○ 和歌山県農林大学校林業研修部での人材育成

➤ 林業経営コース（平成29年度開講）

林業への新規就業を希望する者を対象としたコース（1年間 定員10名）

林業に活力を与える、これからの林業界を牽引する人材を育成（就職率96%）

➤ スキルアップコース

既就業者の知識・技術のスキルアップ（林業架線、高度伐木等、全8コース）

➤ 紀伊半島3県林業大学校の連携

3県の林業大学校で協定を締結、令和3年9月から「研修生・受講生の交流」

「各講座の募集連携」を実施



林業経営コース



伐木・造材の研修



林業架線技術者育成研修



高度伐木技術者育成研修

○ 新規就業者の確保

➤ 紀州林業の魅力PR（都市部において「わかやま林業体感セミナー」を開催、SNS等で情報発信）

➤ 林業体験等の実施（6日間程度の現場での体験や「林業の無料職業紹介」等の就業斡旋を実施）

➤ 林業就業に関するワンストップサービス

（わかやま移住定住支援センター・市町村と連携し、就業希望者のしごと・住まい・暮らしに関する相談に対応）

➤ 安全保護具等の支援（新規就業者を雇用する林業事業体に対して、林業用ヘルメットや防護服、防護ブーツなどの購入を支援）

➤ 高校生向け林業講座（「林業」への就業促進のため森林・林業に関する座学や実習などを高等学校にて実施、高校生向けチェーンソー資格取得講座を実施）



わかやま林業体感セミナー



高校生向け林業講座